

幼児の実態

本児は新しいことや広い場所が苦手で、集団行動が取りにくい。保育室で一斉に課題に取り組むことが難しい。集団で活動していても、気の向くままに一人で好きなことをしてしまう。

☆手立て

- ① 刺激に弱いので、壁に机を付けて刺激が入らない状態の環境を設定した。



机に座って、制作活動ができるようになった。

- ② 「文字のけいこ」に、グルグルと渦巻のような落書きを書き込んで遊んでしまう。



落書きしたいときは、「らくがき帳」を渡して、それに落書きさせるようにすると、「文字のけいこ」には落書きをしなくなった。

支援を受けてみて

- ・ 自分の席に座って活動ができるようになった。集中して取り組みだすと、元の席に戻しても、そこで活動できるようになった。
- ・ 発散できる「らくがき帳」ときれいに書く「文字のけいこ」とを分かりやすく区別することによって他児と同じ課題に取り組むことができるようになった。